

貸借対照表

(令和3年12月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
流動資産	526,001	流動負債	192,069
現金及び預金	129,812	買掛金	80,614
売掛金	184,561	短期借入金	12,000
商品	201,076	未払金	60,150
貯蔵品	10,800	未払法人税等	11,293
前払費用	714	預り金	1,934
貸倒引当金	△ 964	未払消費税	17,975
固定資産	865,328	賞与引当金	8,100
有形固定資産	794,052	固定負債	559,709
建物	425,853	長期借入金	419,413
建物附属設備	251,863	資産除去債務	28,255
構築物	198,584	役員退職慰労引当金	112,041
機械装置	1,074,284		
車両運搬具	181,386	負債合計	751,778
工具器具備品	34,838		
一括償却資産	5,207		
減価償却累計額	△ 1,643,847	純資産の部	
土地	260,602	項目	金額
建設仮勘定	5,280	株主資本	639,551
無形固定資産	188	資本金	40,000
電話加入権	188	利益剰余金	599,551
投資その他の資産	71,087	利益準備金	10,000
投資有価証券	9,345	その他利益剰余金	589,551
出資金	310	別途積立金	610,000
その他投資等	870	繰越利益剰余金	△ 20,448
差入保証金	3,095		
保険積立金	50,639	純資産合計	639,551
関係会社株式	3,000		
繰延税金資産	3,826	負債・純資産合計	1,391,330
資産合計	1,391,330		

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準および評価方法

移動平均法による原価法を採用しております。

② たな卸資産の評価基準および評価方法

商品および貯蔵品：最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有 形 固 定 資 産：定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降取得の建物は、定額法を採用しております。

無 形 固 定 資 産：定額法を採用しております。

繰 延 資 産：定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金：債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか個々の債権の可能性を勘案して計上しております。

賞 与 引 当 金：従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税および地方消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。

(5) 重要な会計方針の変更

特記すべき事項はありません。

2. 貸借対照表等に関する注記

(1) 関係会社株式

子会社株式 (株)アールシステム 3,000千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の種類および総数

普通株式 800 株

(2) 当該事業年中に行った剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

(3) 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

1. 配 当 金 の 総 額：	<u>12,000千円</u>
2. 1株 当たり 配当額：	<u>15,000円</u>
3. 基 準 日：	<u>令和3年12月31日</u>
4. 効 力 発 生 日：	<u>令和4年3月19日</u>

4. その他の注記

特記すべき事項はありません。